

ジャスティV
(型式:TME-604A)

【警告】

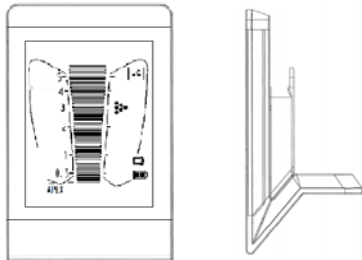
チャンネルインストルメントホルダー及び口角クリップは滅菌したものを使用すること。[感染防止のため]

【禁忌・禁止】

- 1.電気メス、歯髄診断器との併用はしないこと。[正常に作動しないおそれがある]
- 2.ペースメーカーを用いている患者には使用しないこと。[ペースメーカーの誤動作のおそれがある]
- 3.測定に使用するチャンネルインストルメントには、ファイルのハンドルが金属製のものを使用しないこと。[正常に作動しないおそれがある]
- 4.ノイズを多く出すおそれのある機器(例:インバーター電源、シャカステン、超音波洗浄器)の近くでは使用しないこと。[正常に作動しないおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

- 1.本体(プローブコード付き)



2周波及び1周波(500Hz)測定タイプ(TME-604A)

寸法:幅80×奥行68×高さ115(単位:mm)

原材料:口角クリップ SUS 304

2.その他構成品

- ・チャンネルインストルメントホルダー(大)2本
- ・チャンネルインストルメントホルダー(小)1本
- ・チャンネルインストルメントホルダー(クリップ)1本
- ・口角クリップ(3本)
- ・排唾管クリップ(1本)
- ・単4アルカリ乾電池(1.5V) 本体用×2本(付属品)

3.原理

チャンネルインストルメントホルダーを接続した電極となるファイルと、その対極となる口角クリップ(リップクリップ)の間に電流を流し、回路内に流れる電流の変化から根管内の測定用探針の位置を測定し、本体画面にその結果を表示する。また、測定用探針が根尖位置に到達した時に、アラームが鳴る。側枝を検出すると本体画面に表示される。

また、TME-604Aは、周波切り替えスイッチ(チェックボタン)により500Hzと2KHzの2周波と500Hzの1周波を切り替えることができる。2周波で測定した状態で切り替えスイッチを押すと、1周波でインピーダンスを測定し、根管内の抵抗値(電流値)を色表示することで参考値として提示する。

4.電氣的定格

電源:DC3.0V(単4アルカリ乾電池2本)

消費電力:70mW

電撃に対する保護形式の分類:内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類:BF形装着部

5.仕様

根尖孔までの表示 5.0~0(Apex)

ステップ表示 36段階

測定電圧 AC50mV

測定電流 10uA以下

周波数 パルス2周波 500Hz、2KHz

パルス1周波 500Hz

【使用目的又は効果】

歯内治療において、主たる根管の先端位置(根尖)及び主根管から分岐した側枝の有無を確認するために用いる。

【使用方法等】

詳細は使用説明書を参照のこと。

1. 使用前

- ① プローブコードの白色ジャックにチャンネルインストルメントホルダーを接続、灰色ジャックに口角クリップを接続する。排唾管を使用する場合は、灰色ジャックに排唾管クリップを接続する。
- ② 患者にラバーダムを施し、歯牙の表面をエアーで乾燥させる。
- ③ 根管内にオキシドール液等の電気を通す薬液、又は生理食塩水を少量注入する。

2. 使用方法(根管長測定)

- ① ファイルのハンドル部とラバーストップの間にチャンネルインストルメントホルダーを取り付ける。
- ② 電源を入れ、チャンネルインストルメントホルダーと口角クリップを接触させ、メータの指示値がAPEXに到達していることを確認する。
- ③ 口角クリップを口角に引っ掛ける。このとき、この口角クリップが電極となるように口内の粘膜と接触させる。
- ④ 予め撮影したX線写真を元に、チャンネルインストルメントホルダーでファイルを根管に挿入する。
- ⑤ 根尖部にファイルが届いたら、歯冠部にラバーストップをセットし、ファイルを引き抜く。
- ⑥ ファイルの先端部分からラバーストップまでの長さを測定して根管の長さを読み取る。
 - ・メータの指示が不安定な場合は3.使用方法(チェックモード)を参照。
- ⑦ 側枝が検出されると側枝付近に▶マークが点灯する。
 - ・側枝を検出した(側枝付近に▶マークが点灯)場合は4.使用方法(側枝モード)を参照。
- ⑧ 測定終了後、電源スイッチを押して電源を切る。

3. 使用方法(チェックモード)

測定値にブレがある場合、根管内の状態に適正な通電性が保たれているかを調べるモード。

- ① 通常の根管長測定でAPEXまでファイルを到達させる。
- ② チェックボタンを押す。
- ③ 測定中の通電性(電流値)の状態によりメータの指示値が変化する。

- ・メータ指示値 緑エリア
→根管内の状態が適正
 - ・メータ指示値 青エリア
→根管内の通電性が弱い（電流値が少ない）
 - ・メータ指示値 赤エリア
→根管内の通電性が強い（電流値が多い）
- ④ 作業が終了したら再度チェックボタンを押し、測定モードに切り替える。
（チェックモードではオートオフ機能が働かないので、電源ボタンでのオフが必要）

4 使用方法（側枝モード）

- ① 上記⑦項で根管の長さを読み取った後、X線写真をもとに、キャナルインストルメントホルダーでファイルを根管に挿入する。
- ② 根尖部に至る途中で、側枝位置に達すると、表示部の側枝表示▶が点滅した位置で音が鳴る。
- ③ 側枝表示が点滅した位置で歯冠部にラバーストップをセットし、ファイルを引き抜く。
- ④ ファイルの先端部分からラバーストップまでの長さを測定して側枝の高さを読み取る。

5 使用後

キャナルインストルメントホルダー及びロ角クリップは、オートクレープで滅菌する。その他の本体及び付属品については、清拭消毒をする。

	清拭消毒	オートクレープ
本体	○	×
キャナルインストルメントホルダー	○	○
ロ角クリップ	○	○
プローブコード	○	×
排唾管クリップ	○	×

- ・オートクレープ：135℃以下で行うこと。
- ・乾燥工程を行う場合も135℃以下で行うこと。
- ・清拭消毒には、消毒用アルコール（エタノール）を用いること。

【使用上の注意】

1. 本品を使用するときは、次の事項を守ること。
 - ① 使用する前に、必ず使用説明書を参照し、使用方法等を十分理解すること。
 - ② 測定を正しく行うために、使用説明書に記載されている「（EMRの基礎）測定根管の正しい前準備」に従って測定を行う。
 - ③ 目盛りは根管の先端から実際の距離の近似値を示すが、根管拡大や根管洗浄、あるいは根管の状態によって値が変化する場合があるので、あくまでも目安として使用すること。またチェックモードはインピーダンスを示すものであり、目安として使用すること。
 - ④ スイッチの接触状況、全てのコードの接続が正確且つ完全であることを確認すること。
 - ⑤ 機器全般に異常のないことを確認すること。
 - ⑥ 本品に異常が発見された場合は、安全な状態で機器の作動を止める等、適切な処置を講ずること。
 - ⑦ 電池残量の目盛が全て消えた場合、電池を交換すること。
 - ⑧ 本品の付属品以外のものを接続しないこと。
 - ⑨ コードの取り外しに際しては、コードを持って引き抜く等の無理な力を加えないこと。
 - ⑩ 電源が入らない、メータの指示値が動かない、又は指示値が大きく揺れる場合、キャナルインストルメントホルダー又はプローブコードが断線している場合があるので注意すること。
キャナルインストルメントホルダーは消耗品のため、損傷した場合は新品に取り替えて使用すること。

- ⑪ 施術の前に、コネクタがしっかりと接続されているか確認すること。
- ⑫ 電池の蓋をしっかりと閉めること。感電の恐れがある。
- ⑬ 側枝の位置が根尖から2.5mm以下で、側枝孔径が根尖孔径の50%以下の場合には測定電流の大部分が根尖方向に流れてしまい、検出できない場合がある。
- ⑭ キャナルインストルメントホルダーの金属部を術中に術者・患者の人体に直接触れないようにしてください。

2. 本品を設置するときは、次の事項に注意すること。

- ① 気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
- ② 傾斜、振動、衝撃（運搬を含む）等）に注意すること。
- ③ 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
- ④ 幼児、子供の手の届かない所に設置すること。

3. 本品の使用後には、次の事項に注意すること。

- ① 付属品類は外し、清浄した後整理しておくこと。
- ② ロ角クリップ、キャナルインストルメントホルダーは滅菌し、保管すること。
- ③ 故障したときは、購入したディーラに相談すること。
- ④ 本品は改造しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管場所については、次の事項に注意すること。

- ① 水のかからないところに保管すること。
- ② 気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ③ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等）に注意すること。
- ④ 長期間、本品を使用しない場合には、電池を抜き取って保管すること。
- ⑤ 耐用期間は正規の保守点検を行った場合に限り5年間とする。（耐用年数は自己認証「当社データ」による）

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守・点検事項

本品の使用や保守点検の管理責任は使用者側にある。
使用説明書を参照のうえ、機器及び部品の定期点検を行うこと。

- ① 暫く使用していない機器を再使用するときは、使用前に必ず本品が正常且つ安全に作動することを確認すること。
- ② 本体の汚れは中性洗剤を含ませた布等で拭き取ること。
- ③ 清浄には、ベンジン、シンナー等の溶剤、酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、強アルカリ性の溶液を使用しないこと。
- ④ 本品（本体及び付属品）を破棄する際は、各自治体の指定する方法にて行うこと。

2. 業者による保守・点検事項

使用者から委託を受けた場合、各部の状態や動作の点検を実施する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者：

藤栄電気株式会社
神奈川県横浜市都筑区大丸 26 番地
TEL 045-941-6780

販売業者：株式会社 ヨシダ

東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ

コンタクトセンター TEL 0800-170-5541

※携帯電話からは 03-6880-2155 におかけください。

使用説明書を必ずご参照ください。